

# 加賀市再生プロジェクト検討会の 目的、進め方等について

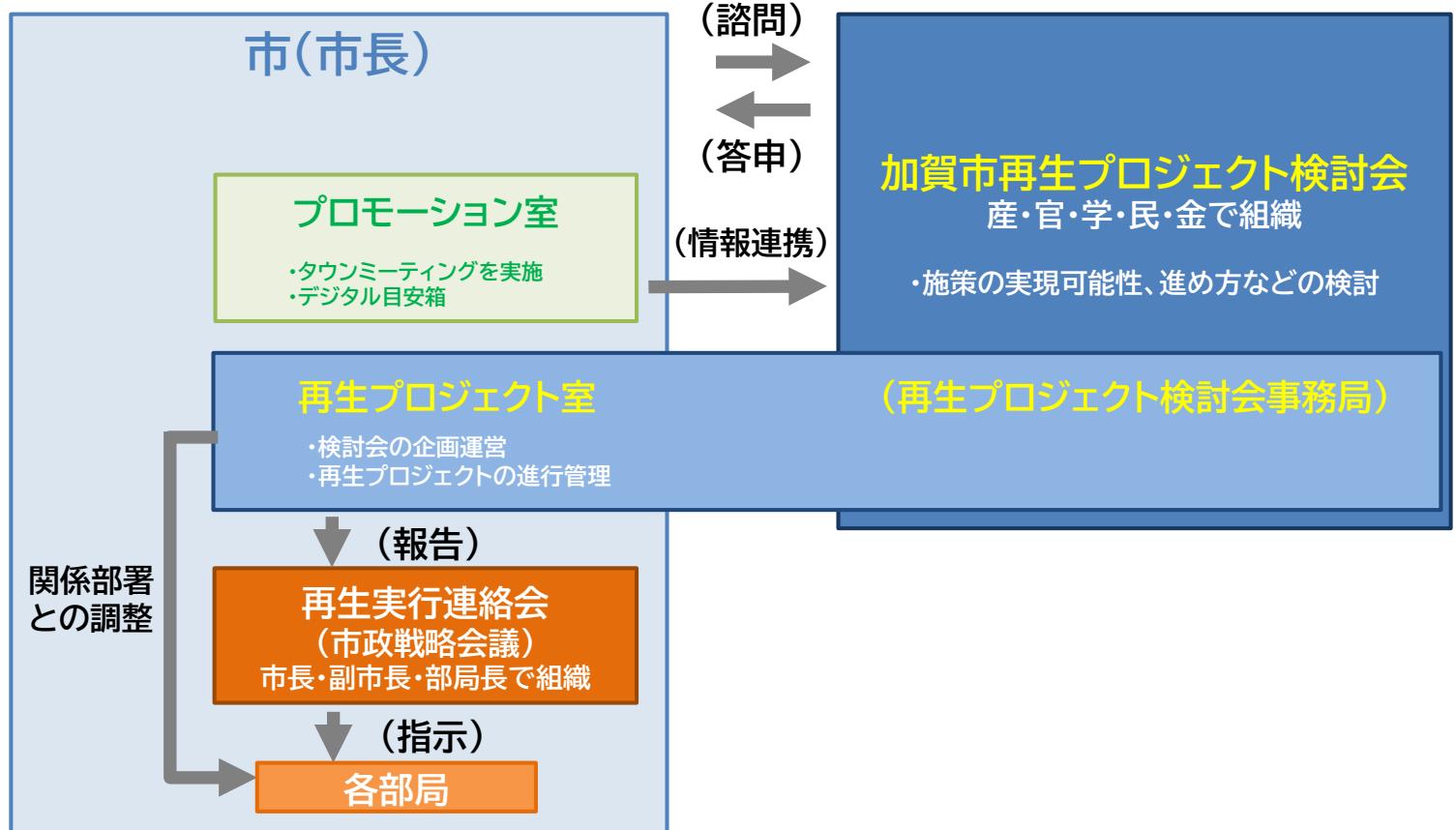
## 「加賀市再生プロジェクト」とは

加賀市は、人口減少と少子高齢化という構造的な課題に直面しており、現状のままでは地域の活力が維持できなくなる危機にある。この課題を克服し、地域の持続可能な発展を実現するために

- 1 市長が公約として掲げた「加賀再生プロジェクト」の五つの政策の柱に基づく施策を行うこと。
- 2 施策の進捗状況や、市がこれまで取り組んできた事業等に関する情報を徹底的に公開し、市民の皆さんから出た意見を今後の施策に反映させていく「ボトムアップ型」の行政を行うこと。

以上のことを通じて、「市民ファースト」かつ「若者から選ばれ、子や孫と安心して幸せに暮らせる加賀市」の実現を目指すもの

## 実施体制



## 検討会の目的(ゴール)

- 市が実施する施策を通じて、若者から選ばれ、子や孫と安心して幸せに暮らせる加賀市を作り上げることを目的とする加賀市再生プロジェクトの推進に必要な事項について検討すること。(設置要綱第1条)
  - 市長からの諮問に応じて、加賀市再生プロジェクトの推進に必要な事項について検討し、並びに加賀市再生プロジェクトの推進に関する市が実施する施策及び事業について検証を行い、その結果を市長に答申すること。(設置要綱第2条第1号)

1. 施策の「優先順位」の決定
    - 限られた財源、人材をどこに集中投下するか。
  2. 実現に向けた「ロードマップ」の策定
    - 即時実行するもの、時間をかけて制度設計するもの、リスク検証が必要なものの仕分け
  3. 懸案事項に対する「客観的な提言」
    - 特に高等教育機関の設立や大規模事業の再調査等、リスクとインパクトが大きい施策への方向付け。

# 検討の視点

---

公約に再生プロジェクトとして位置付けた五つの政策の柱に基づく施策項目(32件)について、次の三つの視点で判断とアイデアをいただきたい。

① 実現性(実行可能性)

- 法的、物理的、スケジュール的に無理がないか

② 持続可能性

- 財政調整基金18億円への回復という財政規律を守りつつ、必要な投資(教育・子育て・医療等)をどう行うか
- 一時のバラマキにならないか。将来世代に負担を残さないか。

③ インパクトと透明性

- 事業を進める上で想定されるリスクは何か
- 都合の悪い情報も含め、どうすれば市民に正しく説明できるか

## 検討会の進め方と当面のスケジュール

---



12月25日

令和8年1月～2月

令和8年3月(予定)

- ビジョンの共有と検討会の目的や役割、進め方などについて確認します。
- 公約の施策項目の全体像を把握し、分類案を協議します。

- 【集中審議】**
- 重点検討案件を中心、検討します。

- 【答申案の決定】**
- 市長への「答申」を決定します。

↓

答申

No.	タスク名	説明	月								
			R7/11	12	R8/1	2	3	4	5	6	
1	デジタル目安箱	24時間受付									
2	タウンミーティング	月1回開催		地域	政策	地域	政策	地域	政策	地域	
3	<u>再生プロジェクト検討会</u>	R8.3月までを目途に3回程度							答申		
4	再生実行連絡会	隨時開催									
5	既存事業の見直し	財政課において各課に指示									
6	行政評価	既存事業の内部評価・外部評価									
7	予算編成	当局での予算案作成			令和8年度当初予算			6月補正予算			
8	市議会	予算の審議・議決		定例会			定例会		定例会		